

問1 1967年に制定された公害対策基本法は、1993年に「環境基本法」が制定された際に廃止されました。この法律が統合・刷新された理由として、当時の環境政策の変化を説明したものととして適切なものはどれですか。（2026年 山口公立入試 類似）

- 産業公害だけでなく、都市型公害や地球温暖化など、より広範な環境問題に対応する必要が生じたため。
- 公害の発生源が工場などの企業に限定されるようになり、規制を簡素化する必要があったため。
- 環境問題が解決したと判断され、公害対策よりも自然景観の保護を重視する方針に切り替えたため。
- 公害の被害者救済よりも、企業の経済活動の自由を優先する国際的な合意がなされたため。

問2 日本の年間における食品廃棄物の総量は約739万トンであり、これは世界全体で行われている年間約480万トンの食料援助量を大きく上回っています。このような食料をめぐる国際的な状況と、そこから生じている課題について説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2025年 秋田公立入試 類似）

- 先進国で大量の食品が廃棄される一方で、途上国などを中心に深刻な栄養不足に苦しむ人々が数多く存在しており、食料分配の不均衡が大きな課題となっている。
- 食品廃棄物が増えることは、海外からの農産物輸入を抑制する効果があるため、日本の食料自給率を向上させる解決策として期待されている。
- 世界全体の食料援助量が食品廃棄物の量を上回っているため、国際的な食料不足の問題はすでに解決しており、現在は環境保護のみが課題となっている。
- 廃棄された食品のほとんどはバイオ燃料として再利用されるため、廃棄に伴う温室効果ガスの排出や環境問題への懸念は解消されている。

問3 海洋プラスチックごみを削減するための取り組みとして、福岡県などの自治体において実際に行われている、小売業者や消費者が協力した事例として適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

- レジ袋の使用削減を呼びかけたり、飲料用ストローをプラスチック製から紙製へ変更したりする
- 海洋ごみの回収費用を捻出するため、すべてのプラスチック製品に高い環境税を課す
- プラスチックごみの排出を抑えるため、家庭から出るごみの焼却処分をすべて禁止する
- 消費者の利便性を守るため、プラスチック製品をバイオマス素材へ変更せずに無料配布を継続する

問4 琵琶湖などの湖辺に広がるヨシの群落は、地域の環境を守るために条例などで保護されています。このような植物群落が、水辺の環境保全において果たしている役割として最も適切なものはどれですか。（2026年 兵庫公立入試 類似）

- 水中の窒素やリンを吸収して水を浄化し、魚などの生物に生息場所を提供すること
- 光合成を抑制することで水温の上昇を防ぎ、外来種の繁殖を完全に止めること
- 湖の水を急速に蒸発させることで湿地を乾燥させ、農地への転用を助けること
- 二酸化炭素を排出することで周辺の気温を上げ、熱帯性の植物を育てること

問5 地球温暖化対策の歴史において、先進工業国全体で温室効果ガスの排出量を1990年比で5.2パーセント削減することを目標とした合意の性質として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

- 先進国に対してのみ、法的拘束力のある具体的な数値目標を義務づけた。
- 先進国だけでなく、開発途上国も含めたすべての国に削減目標を義務づけた。
- 環境権を基本的人権の一つとして位置づけ、各国に憲法改正を促した。
- 経済発展を優先するため、数値目標を持たない自主的な努力目標とした。

問6 循環型社会の形成において、リサイクル（再生利用）よりもリデュース（発生抑制）が優先されるべき理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 山口公立入試 類似）

- 廃棄物の処理や再資源化には多大なエネルギーが必要となるため、最初からゴミを出さない方が環境負荷が小さくなるから。
- リサイクル製品は新品よりも強度が低くなることが多いため、経済的な損失が大きくなるから。
- 一度使用したものをそのまま使い続ける方が、新しい製品を作るよりも技術的に高度な知識を必要とするから。
- 廃棄物の量を減らすことよりも、廃棄物を種類ごとに細かく分別する習慣を身につけることの方が教育的効果が高いから。

問7 日本の世界自然遺産登録地において、環境保全と観光を両立させるために実際に行われている工夫の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山形公立入試 類似）

- 小笠原諸島では、外部から持ち込まれる外来種の侵入を防ぐため、靴の裏の泥を落とすためのマットを設置している。
- 知床では、植生を保護するために観光客の立ち入りを完全に禁止し、一切の観光活動を停止している。
- 屋久島では、観光客の利便性を最優先するため、樹齢の長い縄文杉のすぐ隣まで舗装された道路を建設している。
- 白神山地では、地域経済を活性化させるために、ブナの原生林を伐採して大規模なリゾート施設の建設を進めている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 産業公害だけでなく、都市型公害や地球温暖化など、より広範な環境問題に対応する必要が生じたため。	公害対策基本法は、主に工場の排煙や排水による「産業公害」の防止に重点を置いていました。しかし、生活排水や自動車の排ガスによる「都市型公害」、さらには地球温暖化のような「地球環境問題」が重要視されるようになったことから、それらを包括的に扱うために1993年に環境基本法へと発展的に引き継がれました。
問2	答え 1 先進国で大量の食品が廃棄される一方で、途上国などを中心に深刻な栄養不足に苦しむ人々が数多く存在しており、食料分配の不均衡が大きな課題となっている。	日本の食品廃棄物量が世界の食料援助量を大幅に上回っているという事実は、食料資源が公平かつ効率的に分配されていない国際社会の現状を示しています。世界には十分な食べ物を得られず栄養不足に陥っている人々が多数存在する一方で、先進国では「食品ロス」が大量に発生しており、この南北間における食料格差の是正が国際的な重要課題となっています。また、食品の生産・輸送・廃棄の各過程で多大なエネルギーが消費されるため、環境問題とも深く関わっています。
問3	答え 1 レジ袋の使用削減を呼びかけたり、飲料用ストローをプラスチック製から紙製へ変更したりする	地域社会での具体的な取り組みとして、小売業者がレジ袋を有料化して削減を促したり、プラスチック製のストローを紙などの代替素材に変更したりする動きが広がっています。これは生産者や小売業者だけでなく、消費者の行動変容を促すことで、海洋に流出するプラスチックの総量を減らすことを狙っています。
問4	答え 1 水中の窒素やリンを吸収して水を浄化し、魚などの生物に生息場所を提供すること	ヨシなどの湿生植物は、成長の過程で水中のプランクトンの増殖を招く窒素やリンを吸収するため、水質の浄化に大きく貢献しています。また、その複雑な根元や茎の間は、魚の産卵場所や隠れ家、鳥類の営巣地となるなど、多様な生物が共生する生態系を支える重要な基盤となっています。
問5	答え 1 先進国に対してのみ、法的拘束力のある具体的な数値目標を義務づけた。	京都議定書では、地球温暖化に対する歴史的な責任があると考えられた先進国に対し、1990年を基準とした具体的な削減数値（日本は6%、アメリカは7%、EUは8%など）が割り当てられました。開発途上国には削減義務が課されなかったことが、後のアメリカの離脱や、すべての国が参加する「パリ協定」への移行につながる背景となりました。
問6	答え 1 廃棄物の処理や再資源化には多大なエネルギーが必要となるため、最初からゴミを出さない方が環境負荷が小さくなるから。	リサイクルは資源を有効活用できる一方で、回収・運搬・加工の過程で燃料や電力を消費し、二酸化炭素を排出します。そのため、資源を消費してゴミを作り出すこと自体を抑えるリデュースの方が、地球環境全体の負荷を減らすという観点から、より根本的で有効な対策とされています。
問7	答え 1 小笠原諸島では、外部から持ち込まれる外来種の侵入を防ぐため、靴の裏の泥を落とすためのマットを設置している。	小笠原諸島のような独自の生態系を持つ地域では、外来種が持ち込まれると在来種が絶滅する恐れがあるため、観光客の靴底を洗浄するなどの対策が取られています。知床でも、人が地面を直接踏んで植物を枯らさないように木道（遊歩道）を整備するなど、自然を守りながら観察できる工夫がなされており、単なる「開発優先」や「全面禁止」ではない共生の道が探られています。